

長引く不況。くらしを応援する政治が求められている

2005年3月5日(土)
板倉真也

いま、小金井市の市政運営をめぐる激しい攻防が繰り広げられている。「いまこそ南口再開発を」の声と、「くらしにこそ光を」の声に。多くの市民は武蔵小金井駅南口の開発に期待しつつも、一方では、長引く不況による負担増に苦しみ、毎日不安な中で暮らしている。こうした時代のなかで、私たちは、どんな小金井市を築くべきなのか。

市民のくらしは大変

[市の予算でわかる市民のくらし]

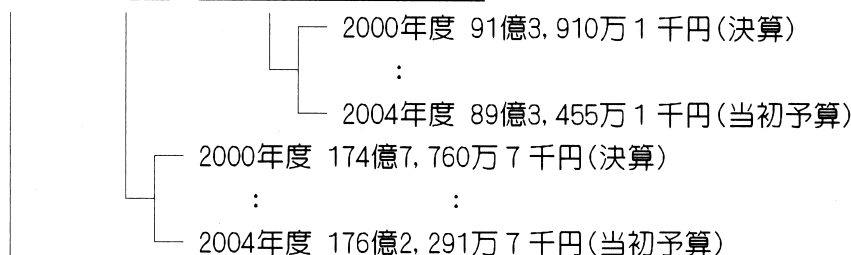
■“平成不況”で小金井市民全体の給与所得は年々減少

2000年度 1,855億3,533万3千円

：

2004年度 1,748億9,692万8千円

■小金井市の市税収入は横ばい、個人市民税は減少傾向



[深刻な市民のくらし]

■生活保護世帯が増加

2004年3月 713世帯

2005年3月 795世帯(推定)

■就学援助を受ける児童・生徒が増加

	小学校		中学校		合計
	要保護	準要保護	要保護	準要保護	
1999年度	13	448	4	250	715
2000年度	13	476	2	271	762
2001年度	22	500	14	265	801
2002年度	23	487	23	250	783
2003年度	28	553	20	252	853
児童・生徒数	小学校 4,953		中学校 2,105		

(2003年度)

■特別養護老人ホームへの入所を待つ高齢者

400人(現時点)

■認可保育所への入所を待つ乳幼児

200人(現時点)

■国民健康保険証が短期保険証になっている世帯 543世帯

(昨年10月時点)

■その他にも……

医療費アップ、介護保険料アップ、国保税アップ……

[ある家庭の深刻なくらし]

■夫が脳梗塞で長期入院の家庭

■夫が脳溢血で長期入院、妻が認知障の家庭

[我が家を訪れた自営業者のくらし]

■インターネット工事の下請業者

[日本共産党市議団アンケートに寄せられた声]

▷「就職先が見つからない」「家計のやりくりで苦労している」「誰でも良いから助けてください」

年間の歳入	312億9,940万円
市税収入	175億9,979万円(歳入の56.2%)
市民税	95億8,112万円(市税収入の54.4%)
個人市民税	89億3,997万円(市税収入の50.8%)
法人市民税	6億4,115万円(市税収入の3.6%)
固定資産税	58億3,945万円(市税収入の33.2%)
軽自動車税	3,436万円(市税収入の0.2%)
市たばこ税	5億1,324万円(市税収入の2.9%)
都市計画税	16億3,163万円(市税収入の9.3%)
国や都からの交付金・補助金など	86億3,887万円
利用料、手数料、その他の収入	16億7,814万円
借金	33億8,260万円

[くらしに回すお金がなくなるばかりか、財政的にも行き詰まる]

■小泉内閣の「三位一体の改革」による地方財政負担の増加

- ▷国からの補助金の削減
- ▷仕事を地方に押しつけ、財源は保障されない
- ▷財源が足らなくなるため、借金で財源不足を補う

■長引く不況による税収低下

■団塊の世代の定年退職で市税収入が落ち込む

- ▷給与所得から年金所得に移行 —— 個人市民税がどんどん減少していく

■大型開発事業は促進

- ▷くらしに回すお金が足らなくなる

財源不足を補うために増税、有料化、民間委託へ
⇒ 国の政治と同じ道に入り込む

「まちづくり」の名による膨大な無駄遣いが始まる

[南口再開発の第一地区]

■公会堂の場所よりも土地が2倍も高い駅前に「市民交流センター」建設

- 駅前の市民交流センターの場合 66億1,000万円(座席数 570前後)
- 公会堂の場所で建てかえならば 約40億円前後(座席数 900前後)

差し引き 26億円前後の無駄遣い —— 特別養護老人ホームのベッドを260人分確保できる金額

[南口再開発の第二地区 —— 第一地区が完了後に着手]

■市役所建設のために驚くべき無駄遣いを計画

- ①駅前一等地に通常建設費の2倍(92億円)で建設
- ②利子含めて120億円で買った庁舎建設予定地(ジャノメ跡地)を、駅前の土地と43億円で交換。77億円もの無駄遣い。
—— 借金返済に2005年度は3億9,000万円を支出
- ③第二地区に市役所が建つまでの間は、リース庁舎は継続する。 ※すでに51億円(2005年度末)をリース庁舎につぎ込む

庁舎借上料	2億3,174万円
庁舎維持管理料	8,864万7,000円
駐車場借上料	1,519万6,000円
年間合計	3億3,558万3,000円(2005年度予算)

—— 約92万円/一日

一方で 介護や子育てで大変な人、不況で苦しむ小規模業者……

駅前は広場の整備と公会堂の建てかえにシぼる

[4年後には中央線が高架になる]

- 高架の下で、北口広場と南側が結びつく —— 市民の視点も変化する
- 6,300㎡もの南口広場は必要ない —— 高架の下でバスやタクシーから降りればよい

[公会堂は現在地で、駅前広場は整備する]

- 小金井市には91mもの高層ビルは必要ない —— 景観、環境に大きな影響を与える
- 公会堂は現在地で建てかえる —— 騒音、振動対策は、現在の建築技術で十分可能(宝塚劇場は線路のキワに建っている)
- 歩行者が安心して歩けるような歩道の確保と広場の整備

くらしにこそ光を。だから大型開発は見直しを

[板倉真也がこれからも力を入れていく主な取り組み]

- ①特別養護老人ホームの増設 —— あと20年ほどで3人に1人が65歳以上になる
- ②認可保育所の増設 —— 少子化問題を解決するためにも必要
- ③地域の商店街と小規模業者の育成 —— 高齢者が地元で買い物できるようにすることは、高齢化社会のなかで重点課題
- ④小中学校・保育園・学童保育所の耐震補強工事の早期実施 —— 子どもたちの安全を確保するために
- ⑤地域の世話役活動に全力投球 —— 「この街って、楽しいことがいっぱいあるんだよ」と、子どもも大人も自慢できる街に
- ⑥憲法を守り、平和を守り抜く活動 —— 子どもたちを戦争に巻き込ませる世の中にさせないために

[お知らせコーナー]

- 西之台会館図書室が4月後半から、毎日開館されます。秋には貫井南センターに移動図書館車がお目見えします。
- ココバス貫井南・前原コースは3月20日スタート。

以上。

大型開発事業に本格的に突き進む小金井市

武蔵小金井駅南口再開発事業(第一地区 約3.4ha)に32億円

[2005年度の年間予算に占める割合は9.5%]

2005年度の年間予算は 343億1,600万円

南口再開発事業に 32億5,720万円(年間予算の9.5%)

国・都の補助金	15億 400万円	} 17億5,320万円
市が借金する	17億1,900万円	
市の貯金を使う	3,400万円	
市税収入を使う	20万円	

南口再開発事業(第一地区 約3.4ha)の概要

[開発の概要]

- 駅前広場の整備(6,300㎡・現在の広場の9倍)
- 5階建のJRが所有する業務ビル
- 駅に隣接する25階建・91.15m(リース庁舎の3倍)のマンション商業ビル
- 駅前広場の南側に隣接する570人規模の市民交流センター
- 公会堂の場所にイトーヨーカ堂(長崎屋の5倍の売り場面積)

[国・都・小金井市などの負担内訳(昨年6月時点)]

全体の資金計画	
国	76億1,800万円
東京都	44億1,000万円
小金井市	66億1,800万円
他の権利者が負担	116億2,900万円
計	302億7,500万円
上記以外の市負担額 32億3,600万円 (公共駐車場、道路整備、資産活用)	

小金井市の財源内訳の総括	
借金	64億3,500万円+利子5億4,500万円
積立金等	3億4,400万円
市税	4億2,500万円
小計	72億 400万円+利子5億4,500万円
開発区域内の市の資産活用 (土地など)	26億5,000万円
小金井市の負担額	合計 98億5,400万円+借金利子5億4,500万円

毎年、南口再開発にこんなに借金
 2005年度 17億1,900万円の借金
 :
 2007年度 38億 500万円の借金
 — 2003年度の借金
 総額を上回る額

借金の返済終了は 2030年(25年後)
 ※年間4億4千万円前後の返済

小金井市の大型事業はこれだけではない

小金井市がすすめるプロジェクト(2003年度決算資料より)

	市予算に占める総事業費	市負担額	(市負担額に占める借金) (利子含まず)
JR中央線連続立体交差事業	94億5,800万円	67億8,541万円	(52億 300万円)
JR中央線連続立体交差側道整備	32億5,194万円	15億7,597万円	(12億1,880万円)
ジャマ跡地西側南北道路(3・4・12号)整備	57億2,221万円	37億1,979万円	(34億7,170万円)
東小金井駅北口土地区画整理事業	168億1,478万円	54億9,906万円	(43億6,610万円)
まちづくり事業用地(東小金井北口)	19億2,811万円	19億2,812万円	(17億3,530万円)
武蔵小金井駅南口再開発事業(第二地区含む)	146億2,610万円	58億8,740万円	(54億8,130万円)
市民交流センター整備(南口再開発区域の第一地区)	66億1,000万円	61億1,000万円	(29億1,900万円)
総 計	584億1,114万円	320億 575万円	(243億9,520万円)

——— 利子含めると 251億3,524万1千円

[小金井市に駅前開発を行なうだけのお金はあるのか?]

▷現在でも367億8,479万円(2005年度末)の借金を抱える(市民一人当たり32万9,000円)

一般会計 278億5,885万円
 下水道会計 36億2,460万円
 開発公社 53億 133万円

▷大型事業を進めていくための保障となる財政計画をいまだに示せず

「平成17年3月までに、おそくとも17年度の初めには提出する」(昨年夏の答弁)



「平成17年度の半ばには提出したい」(今年2月の答弁) ———— 財政計画が示せず、提出は先送りに